

これだけは知っておきたいDX関連の法令

DXを推進する上で覚えておきたい個人情報保護法や、知的財産権、生成AIなどの新しい技術に関しての注意点などを網羅的に学びます。

さらに、さまざまなデータを取得し活用する中で気を付けることを網羅的に理解し、業務の中で注意できるようになることを目指します。

＜本コースのねらい＞

- DX推進に関連する法令を理解し、さらに法令を越えて意識すべき点についても理解を深める。
- 法令違反にならないために、具体的にどんなことに注意したらよいか理解する。

＜カリキュラム＞

1. 個人情報保護法
2. 知的財産権
3. 生成AIに関連する法令
4. 諸外国の法令の動向
5. 法令を超えて（モラル）

DX関連法令紹介：個人情報保護法

具体的な事例

- 例1 店頭でカメラを設置して顧客の顔認証をしたい

「個人情報」となるため法令に沿った対応が必要

- ✓ 撮影を容易に認識できるように
- ✓ 利用目的をできる限り特定
- ✓ 当該利用目的の範囲内で利用
- ✓ 利用目的の通知・公表 等



出典：個人情報保護委員会
<https://www.ppc.go.jp>



DX関連法令紹介：知的財産権

具体的な事例

- 例1 自社Webサイトでネットで「拾った」映像や写真、楽曲を使いたい

● 「著作権隣接権（財産権）」保護期間切れ、いわゆる「著作権フリー」等
でなければ許諾が必要

保護期間（例）：音楽：発売後70年、写真：死後70年（第101条第2項）

● 刑事、民事ともに罰則あり

刑事：3億円以下の罰金（法人の場合）

民事：差止請求（第112条）、損害賠償請求（民法）、
不当利得返還請求（民法）、名誉回復等措置請求（第115条等）

出典：文化庁「著作権手続ガイド（令和5年版）」P41、44、46、93～95
https://www.bunkyo.go.jp/seisaku/chosakuten/seisakusetsu/pdf/93908401_01.pdf



＜概要＞

受講対象者 ● ビジネスパーソン全般

監修 ● JMAMDX研究会

教材概要

- 想定学習時間：60分
- 最短実行時間：27分
- テスト数：1
- （全10問、ランダム出題）